

## ”100点採るまでダメだ！”??

### 「復帰教育」の勝手運用は認めない!

10月17日に開催された業務委員会で、車両所での「復帰教育」の問題について論議しました。会社が自ら決めた制度を、現場の一部管理者が勝手に逸脱した運用を行った事象に対して会社の考えを質しました。しかし会社回答は、現場管理者の擁護と責任逃れに終始しました。私たちは、現場の現実と会社の認識に著しく乖離があり、現場一部管理者の暴走を諫め、指導を徹底することを強く訴えました。

### 復帰教育を悪用した「社員への恫喝・いじめ」は許さない!

#### 【申し入れ内容の要旨】

昨年3月に車両所に導入された『復帰教育』は、日勤教育や試験制度の導入であり精神的負担となるため直ちに中止すること。

試験は7割以上の正解率で合格とするとしているが、仕業検査車両所及び交番検査車両所では「100点採らなければだめだ!」と再試験とされた事象が発生している。このような運用は問題であり、会社の考えについて明らかにすること。また、現場が勝手な運用をしないように指導すること。

申し入れに対する会社回答は、「復帰教育を中止する考えはない。なお、合格者についても試験後に間違えた箇所の教育を実施することはある。」「7割で合格、終了である。今回の運用は所の判断である。」として、7割以上で合格したにもかかわらず、直ちに現場復帰させずに勝手に再試験を行った現場の暴走をかばうものでした。

### 現場一部管理者の暴走を容認する会社の体質を許さない!

私たちは、「100点採らなければだめだ!」として、合格したにもかかわらず再教育としたことは復帰教育を悪用した“社員への恫喝・いじめ”である! 復帰教育のフレームから外れた現場の運用を容認するな! 現場の報告を鵜呑みにして、現場を指導しないから一部管理者が暴走する! などについて明らかにし、現場を厳しく指導することを強く訴えました。